

東北地方 1か月予報

(3月22日から4月21日までの天候見通し)

平成15年3月21日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

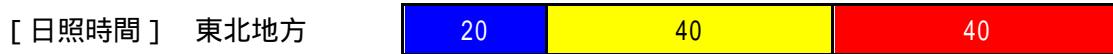
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。

天気は概ね周期的に変化しますが、高気圧に覆われ晴れる日が多い見込みです。

向こう1か月の気温は平年並、降水量は東北日本海側で平年並か少なく、東北太平洋側で平年並、日照時間は平年並が多いでしょう。

週別の気温は、1週目は平年並か高く、2週目、3~4週目は共に平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 3月22日(土) ~ 4月21日(月)

1週目 : 3月22日(土) ~ 3月28日(金)

2週目 : 3月29日(土) ~ 4月 4日(金)

3~4週目 : 4月 5日(土) ~ 4月18日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日14時30分 次回は3月28日

3か月予報:3月25日(火曜日)14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	7.1	131.2	175.3	4.6	6.1	8.2
新庄	5.8	107.9	143.8	3.1	4.5	7.1
若松	7.5	69.0	165.5	4.4	6.1	8.9
深浦	6.4	94.9	167.1	3.9	5.5	7.6
青森	5.9	65.0	180.6	3.3	4.9	7.2
むつ	5.3	81.1	187.2	2.7	4.3	6.4
八戸	6.3	57.1	191.9	3.6	5.3	7.5
秋田	7.2	114.1	172.0	4.6	6.2	8.5
盛岡	6.1	94.6	174.1	3.2	4.9	7.5
宮古	6.7	98.4	191.1	4.2	5.8	7.9
酒田	7.9	107.5	164.8	5.4	6.9	9.1
山形	7.4	69.0	171.1	4.4	6.1	8.9
仙台	8.2	93.8	190.2	5.6	7.1	9.3
石巻	7.3	89.2	193.8	4.9	6.4	8.4
福島	9.0	84.5	187.6	6.1	7.8	10.3
白河	7.6	100.0	184.7	4.8	6.5	8.9
小名浜	9.4	131.3	186.0	7.1	8.5	10.4

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.4	85~112	96~105
東北日本海側	-0.3~+0.4	87~108	96~105
東北太平洋側	-0.3~+0.4	79~115	96~105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5~+0.6	-0.5~+0.6	-0.4~+0.4
東北日本海側	-0.5~+0.6	-0.6~+0.7	-0.5~+0.5
東北太平洋側	-0.5~+0.6	-0.6~+0.7	-0.4~+0.4

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年3月21日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(3月22日~4月21日) :

天気は概ね周期的に変化しますが、高気圧に覆われ晴れる日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(3月22日~3月28日) :

期間の前半は高気圧に覆われ晴れる日が多いですが、期間の後半は気圧の谷の影響で曇りや雨の所があるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

2週目(3月29日~4月4日) :

天気は概ね周期的に変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(4月5日~4月18日) :

天気は周期的に変化するでしょう。

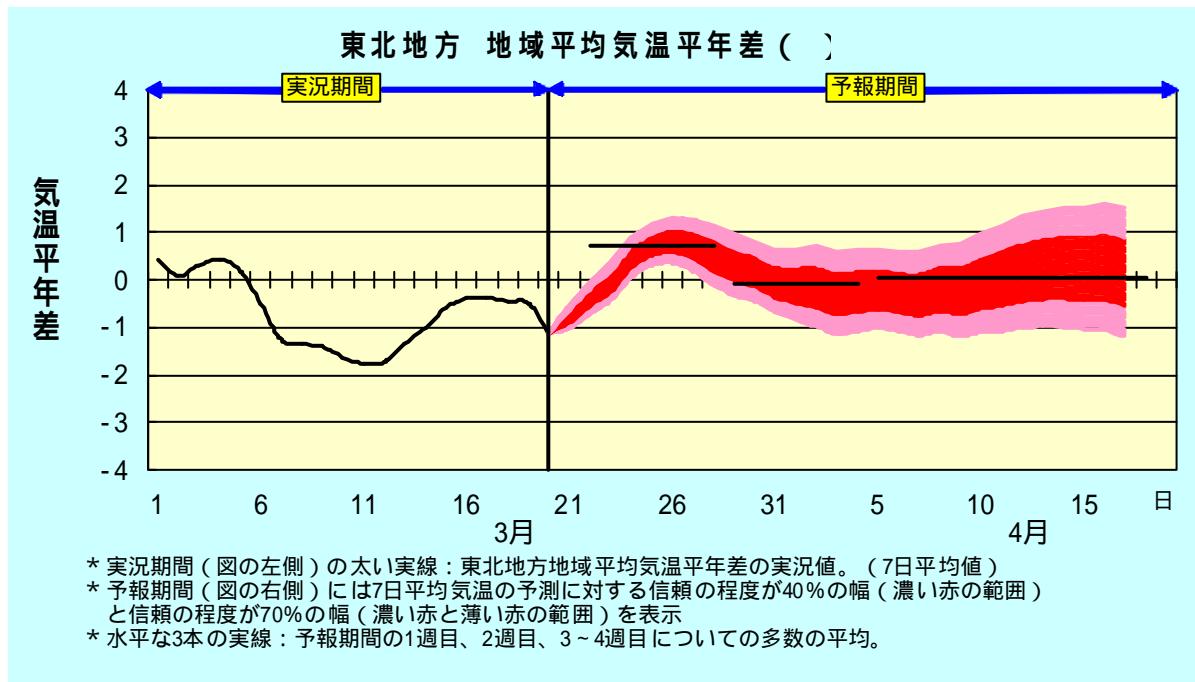
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

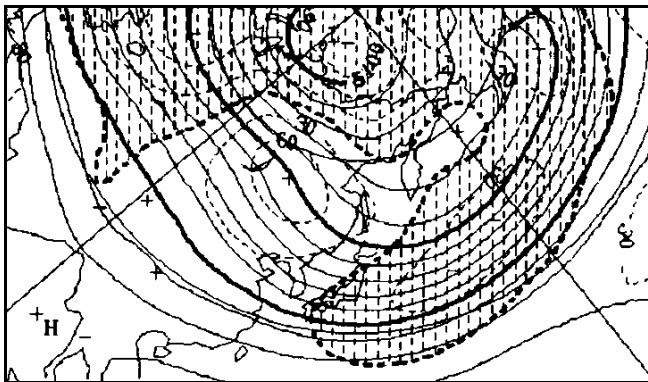
	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	14.7日	3.5日	3.6日	7.6日
東北太平洋側	17.0日	4.4日	4.3日	8.3日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目が「高い」、2週目、3~4週目が「平年並」を予測している。予報は、週間予報資料から1週目を「平年並か高い」に変更する他は予測どおりとする。なお、数値予報の信頼度は小さい。



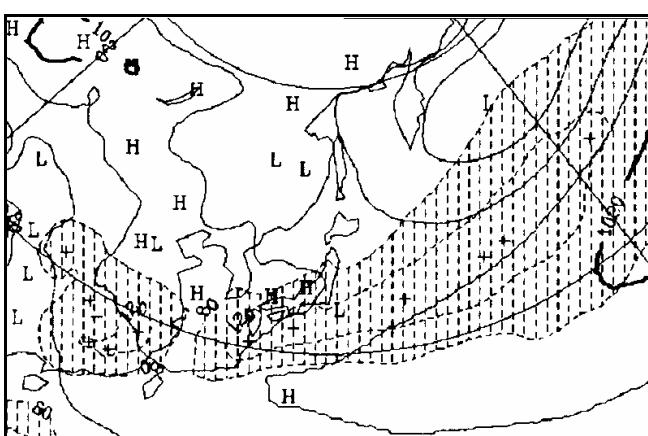
3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、大陸は正偏差、日本の東海上は負偏差に覆われる。日本付近は相対的に東谷傾向となり、低気圧や前線は平年に比べて発達しにくい見込み。

週別（図略）では、各週とも東谷傾向が続くが、1週目は北海道～東北地方は弱い正偏差に覆われる。2週目はカムチャツカ半島付近の低圧部が深まり、寒気の影響を受ける可能性がある。3～4週目はカムチャツカ半島付近の低圧部が弱まり、日本付近は関東地方を除いて弱い正偏差に覆われる。



地上気圧と降水量

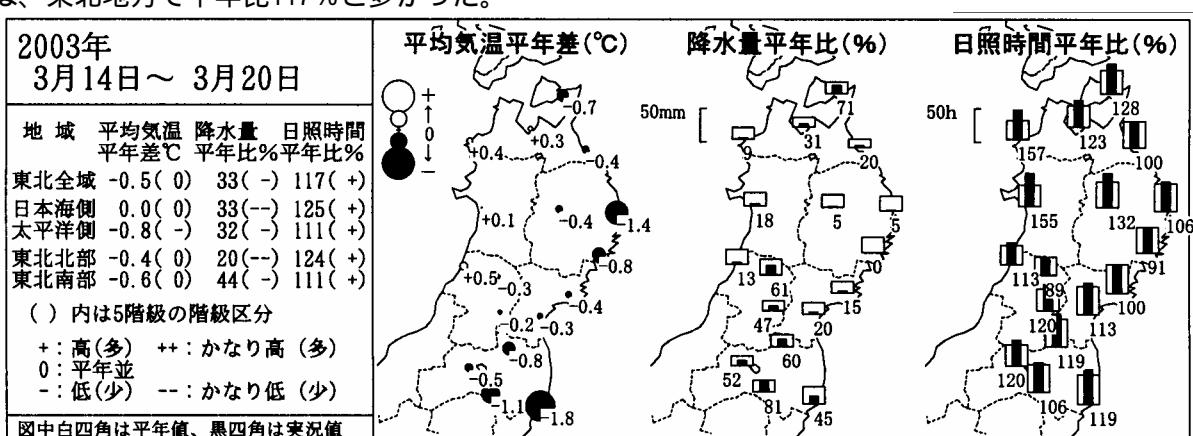
月平均で見ると、ほぼ平年並の気圧配置で、天気は周期変化が基調になる見込み。日本の南岸から東海上にかけて降水域が予想されるが、まとまった降水は海上が中心。

週別（図略）では、1週目は概ね月平均と同様の気圧配置だが、東北地方に降水域はかかっていない。2週目はカムチャツカ半島付近の低気圧が平年に比べ明瞭。3～4週目は概ね月平均と同様の気圧配置。降水域は東北地方までかかる。

4. 最近1週間（3月14日～3月20日）の天候の経過

17日は日本の南岸を東進した低気圧の影響により、東北南部は雨や雪となり、東北北部は概ね晴れた。また、19～20日にかけて北海道を南東進した低気圧や上空の寒気の影響により、東北日本海側を中心に雪となった。その他の日は、高気圧に覆われ概ね晴れた。

平均気温は、東北日本海側で平年差0.0と平年並、東北太平洋側で平年差-0.8と低かった。降水量は、東北北部で平年比20%とかなり少なく、東北南部で平年比44%と少なかった。日照時間は、東北地方で平年比117%と多かった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）